桜花学園大学・名古屋短期大学 免許更新講習プログラム

【必修領域】教職に関する省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外での連携協力についての理解に関する事項(12時間以上)

講習名	講習時間	講習内容	担当者	主な対象	定員	試験方法	開講日
教育の最新事情	12時間	幼児期の教育を主たる対象として、①教育専門職に求められる課題、②子どもの変化をふまえた発達や支援の課題、③幼稚園教育要領の改正など教育政策の動向と課題、④学校・家庭・地域の連携協力の課題の4項目を主に検討し、教育の最新事情と今日的な課題についての理解を深めることを目指す。	上村 晶 今野正良 小柳雅子 岡林恭子	幼稚園教諭	75名	筆記試験	8月22日(金) 8月25日(月)

【選択領域】教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項(18時間以上)

保護者支援 ー保護者との 協力関係をめざしてー	6時間	急速に時代が変化していくなかで、子どもの健全育成に対して、保護者と教員との間に構築されるべき協力関係が築きにくい時代になっている。本講習では、事例を基にししながら、保護者と協力関係を結ぶための保護者支援について考えていく。	小嶋玲子	幼稚園教諭	25名	筆記試験	8月18日(月)
子どもの科学的能力、数量的能力の発達	6時間	教科「理科」、「生活」、「算数」は小学校から導入されるが、科学的能力、数量的能力の基礎は、様々な遊び等を通じて、幼児期から形成されていると考えられ、幼児期にこれらの能力の基礎を適切に獲得することが、学童期以後のこれらの能力の良好な発達にとって非常に重要であると考えられる。この講義では、幼児期に適切に科学的・数量的能力の基礎を獲得するための方法について、理論や事例等を通じて考察する。	鏡 裕行	幼稚園教諭	50名	筆記試験	8月19日(火)
幼保ー小の連携	6時間	幼保ー小の連携の重要性は、近年 幼稚園・保育園・小学校の関係者の多くから指摘されている。しかし、幼保ー小の連携を実施している実態は、稀薄である。幼保ー小の連携を推し進めるには、発達の連続性に基づく子どもの理解、子どもの学びの発達の理解、幼児教育から小学校教育へのスムーズな移行という観点からの考察が必要である。この講義では、幼保ー小の連携を図る具体的な手立てについて考え、指摘できることを目指す。	杉浦 涉 吉田真砂	幼稚園教諭	50名	筆記試験	8月20日(水)
子どもの脳の発達	6時間	最近の脳科学研究の発達によって、子どもの脳の発育・発達や脳の障害に関して新しい知見が次々に明らかになってきている。子どもの運動機能、言語、記憶など、さらには心の成長も脳機能の発達をもとに説明できる部分が多くなってきた。また、脳の構造や機能の異常が子どもの成長に重大な問題を起こすことも証明されてきた。この講義では子どもの脳の発達と脳の障害について学び、子育て、脳育ての方法論について考察することを目指す。	藤田公和	幼稚園教諭	50名	筆記試験	8月21日(木)
子どもの音楽表現 (打楽器奏法・リズム遊び・歌唱発声・アンサンブル)	6時間	教育現場における様々な表現・音楽活動の中から、打楽器の奏法・リズム遊び・歌唱発声及びそれらを使ったアンサンブルを学ぶ。個人の音楽能力と集団での音楽能力を実践的に学ぶ。	石山英明 基村昌代	幼稚園教諭	40名	レポート及び実技発表	8月26日(火)
子どもの発達障がい の理解と支援	6時間	保育現場では、発達に障がいを持つ子どもやその周辺の子どもの関わりで困ることが多いと思います。入園直後や行事の時、就学前などに不安定な行動が見られるのではないのでしょうか。ここではまず発達障がいへの理解を深めることを目的とします。その上で発達障がいを持つ子どもへの関わりをどうすればいいのか、さらに保護者をどのように理解し、支援していくことができるのかについて、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。	山下直樹	幼稚園教諭	50名	筆記試験	※8月27日(水)
子どもの造形と表現	6時間	造形表現は感覚や思考を豊かにするものだが、現代ほど創造性が求められている時代はない。身近な素材による楽しい工作演習を通じ、子どもの造形素材についての研究や正しい道具の扱い方を学ぶ。	高田吉朗	幼稚園教諭	25名	作品評価	※8月27日(水)
子どもの音楽的表現活動	6時間	身体表現、歌唱、楽器の使用による表現への展開を通じて、子どもの音楽表現の現状や問題点について分析し、表現を育てるとは、いったい何を育てることなのかを考え、保育者自身の感性の働きや、表現力、創造力、援助方法について体得する。また、日本で伝承されている童謡を歌うことの重要性、わらべうたの重要性についても西洋音楽の教育者理論から検討する。	高須裕美	幼稚園教諭	25名	実技考查	8月28日(木)

※同日開講です